

授業科目名 英 文 名 ナンバリングコード	教養特殊講義 現代社会と法 矯正と共生 correction and community involvement		授業科目区分 対象学期 対象学年 単位数 授業方法			職名	担当教員	
	99905 II AJ	夏期集中	2年	2単位	講義			
授業概要	<p>現代社会を表現することばとして、国際化、複雑化、情報化、多様化など、さまざまな形容がなされているが、まさに多種多様な意味を持ちながら激動的な社会状況である。そして、この現代社会において引き起こされる社会現象もまた目まぐるしい展開を続けている。</p> <p>2022年度富山県寄附講座では、私たちが生活している現代社会に起きているあらゆる分野における問題解決のために、矯正と共生をキーワードにして、持続可能な社会構造を構築するために必要な対応とは何かを考える契機になるエッセンスを講義内容としています。</p> <p>【授業のねらい】各専門領域において活躍されている講師の先生方から直接かつ具体的な内容を講義で学ぶことができ、その学びを通じて学生の間に経験しておくことが望ましいと思われる現実的な活動などについても考えることができるようになる。</p> <p>【コースとの関連】すべてのコースにとって重要である。</p> <p>【カリキュラムポリシー】1. 幅広い基礎教養教育により社会(他者)との関係を自覚する 2. 段階的系統的学修により専門知識を養いリーガルマインドを身につける 4. 主体的な学修支援をする 5. 総合的学修による課題探求力、問題解決能力を身につける 6. 複雑化した社会を生き抜く基礎能力を身につける</p> <p>【ディプロマポリシー】1. 法学的な客観的視点で事象を分析し問題発見能力を身につける 2. 課題解決の過程を分析し論理的思考力を身につける 4. 社会・地域・組織の一員としての自覚を持った言動と創造的表現力を身につける 5. 21世紀型市民として相応しい正義感・倫理感・判断能力・行動力を身につける</p>							
到達目標	現代社会に起きていることに関心を持ち、発生している問題事象に対して、あらゆる角度から問題解決のために必要な対応について考えることができる。							
実務経験の有無	○	実務経験のある教員等による授業科目の学修成果	各講師の実務経験の知見を学ぶ					
コンピテンシー(行動特性) 「伸ばすことのできる能力」		協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力			
		○	◎	◎	◎			
講義方法	オムニバス方式による講義形式である。							
授業計画	回数	内容						
	第1回	9月5日(月) 2限	第1部 講義テーマ：刑法、刑事訴訟法、刑事政策のものの考え方 (1) 刑事法上の諸原則			【講師 只木 誠 先生】 (中央大学法学部教授)		
	第2回	9月5日(月) 3限	第1部 講義テーマ：刑法、刑事訴訟法、刑事政策のものの考え方 (2) 刑事法の根底にある基本原則			(講師 只木 誠 先生)		
	第3回	9月5日(月) 4限	第1部 講義テーマ：刑法、刑事訴訟法、刑事政策のものの考え方 (3) 刑事法の理論と実務			(講師 只木 誠 先生)		
	第4回	9月6日(火) 2限	第2部 講義テーマ：検察の捜査過程における被疑者の更生に向けた取組み (1) 被疑者の更生のために取調べが重要な役割を演じていること			【講師 城 祐一郎 先生】 (昭和大学医学部教授)		
	第5回	9月6日(火) 3限	第2部 講義テーマ：検察の捜査過程における被疑者の更生に向けた取組み (2) 被疑者の処分当たって更生を考慮していること			(講師 城 祐一郎 先生)		
	第6回	9月6日(火) 4限	第2部 講義テーマ：検察の捜査過程における被疑者の更生に向けた取組み (3) 被疑者の起訴が更生に役立っていること			(講師 城 祐一郎 先生)		
	第7回	9月7日(水) 2限	第3部 講義テーマ：矯正と地域社会との連携に向けて (1) 矯正施設収容者、矯正処遇の概要			【講師 名執 雅子 先生】 (日本司法支援センター理事)		
	第8回	9月7日(水) 3限	第3部 講義テーマ：矯正と地域社会との連携に向けて (2) 二度と犯罪に至らせないための更生支援策の概要			(講師 名執 雅子 先生)		
	第9回	9月7日(水) 4限	第3部 講義テーマ：矯正と地域社会との連携に向けて (3) 地方自治体、地域社会の活動との連携			(講師 名執 雅子 先生)		
	第10回	9月8日(木) 2限	第4部 講義テーマ：地域社会における具体的な更生保護活動 (1) 富山県における更生保護活動の概要とその活動主体			【講師 西尾 憲子】 (高岡法科大学法学部教授)		
	第11回	9月8日(木) 3限	第4部 講義テーマ：地域社会における具体的な更生保護活動 (2) 更生保護施設の役割と活動内容			【講師 島田昌彦先生】 (更生保護施設富山養得園施設長)		
	第12回	9月8日(木) 4限	第4部 講義テーマ：地域社会における具体的な更生保護活動 (3) 高岡市保護司会、高岡市更生保護女性会、高岡市BBS会及び高岡市協力雇用主会の役割と活動内容 (パネルディスカッション) 【パネリスト：高岡市保護司会、高岡市更生保護女性会、高岡市BBS会及び高岡市雇用主会】			【コーディネーター：西尾憲子】		
	第13回	9月9日(金) 2限	第5部 講義テーマ：いじめ問題における矯正と共生 (1) いじめとは何かということ			【講師 野村 武司 先生】 (東京経済大学現代法学部教授・獨協地域と子ども法律事務所弁護士)		
	第14回	9月9日(金) 3限	第5部 講義テーマ：いじめ問題における矯正と共生 (2) いじめ問題と加害・被害			(講師 野村 武司 先生)		
第15回	9月9日(金) 4限	第5部 講義テーマ：いじめ問題における矯正と共生 (3) いじめ問題と共生			(講師 野村 武司 先生)			
評価方法	提出物による評価とする。評価のめやすとして、5部編成のため、各部20%とする。							
課題(試験やレポート等)の フィードバック方法	課題等の提出には、Googleクラスルームを活用するので、各課題への限定コメントを利用するなどしてフィードバックを行う。							
使用資料	テキスト	各講義担当者により、各講義回において紹介する。						
	参考図書	各講義担当者により、各講義回において紹介する。						
受講上の注意、 備考など	5部編成の講義となり、各講義は外部講師によるものである。各講師の専門的知識と知見を直接聞くことができる貴重な講義であるので、ただ着席しているだけではなく、積極的に受講してほしい。 また、5部編成であるため、各部の講師による受講に関する注意事項や説明を遵守してください。 なお、この講義全般に関する注意事項や成績評価に関する注意事項は、講義初回に説明するので確認すること。							
事前・事後 学習 (学習課題)	事前	各講義テーマについて、各自興味のあることなどを事前に調べておいてほしい。 講義において質疑応答の時間が設けられるので、疑問に思ったことなどを質問できるように準備しておいてください。(30分)						
	事後	講義を聴いたあと、質疑応答の内容等について復習するなどし、各テーマについて自分で考える時間を設けてほしい。(30分)						
オフィスアワー	5部編成のため、各講義回それぞれの講義終了時に対応して頂く予定である。							